

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師



脳卒中リハビリテーション看護認定看護師とは

脳卒中は突然発症し、脳の神経細胞が障害されて生命を脅かす病気です。また生命危機は逃れたとしても、麻痺などの後遺症を残し、日常生活を営むことが困難になる場合があります。脳卒中リハビリテーション看護認定看護師は、このような患者さんに対して、その人らしい生活が再び送れるように急性期での重篤化を回避するための観察とケア、病態に応じた早期リハビリテーションの実施、退院支援などを行います。



活動内容

脳卒中を発症した方は、生命の危機状態にあることが多いため、異常を早期に発見し、重篤化を回避しています。それと同時に患者さんの状態に応じて、リハビリを開始します。また脳卒中発症は患者さん、ご家族にとって非常に辛い体験です。その辛さを少しでも和らげ希望を見出してもらえるように関わっています。このような脳卒中患者さんの健康回復への支援はチーム医療が重要で、自身が多職種との調整役になるように努めています。

院外活動

- ・派遣講座 百寿大学「防ごう脳卒中」講師
- ・脳の看護実践 執筆

活動アピール

私は脳神経外科病棟に勤務しており、脳卒中急性期の患者さんの看護を行っています。その中でベッドサイドケアの充実に向け、患者さんと会話する時間を大切にしています。多くの話をうかがって患者さんの声に寄り添った看護を実践したいと考えています。

